

シェブロンなど
米石油メジャー
石油メジャー

油田開発に大型投資

シェブロンなど カザフで3.7兆円

【ニューヨーク＝稲井 創一】米石油メジャーのシェブロンは5日、米エクスコンモービルなどの合併会社を通じてカザフスタンの原油生産プロジェクトを拡張すると発表した。総投資額は368億ドル(約3兆7千億円)

に達する見通しだ。2014年夏以降の原油安局面で石油メジャーは大型の開発投資を抑制してきたが、将来の成長を左右する優良案件とみて積極投資に踏み切る。

「このプロジェクトは記録的な優良な案件に追加されるもので、シェブロンはカザフスタンの「デングズ」と呼ぶ鉱区。シェブロンが50%出資する合併会社「TCO」が運営

している。TCOにはエクスコンモービルや現地企業なども出資している。同鉱区では昨年、原油を日量約59万バレル生産しており、追加投資に伴い原油生産は約44%増にあたる日量26万バレルが増える見通し。合併会社が投資する368億ドルの内訳は追加増産のほか、将来の開発投資も含まれるという。追加増産は20年にも

始まる見込みだ。

シェブロンの16年投資額は約250億ドルと原油価格が急落する前に比べ約4割減らしている。配当を維持する利益を出すために投資を絞ってきたが、ここに来て開発を巡るサービスや機器のコストも大幅に低下。従来に比べコスト安で開発できるようになったことも、大型投資に踏み切る要因になったとみられる。